

介護あんしん相談員だより

第６５号　　令和８年１１月発行
発　行：鳥栖地区広域市町村圏組合
（介護保険課　地域支援係）
連絡先：０９４２－８１－３１１１

介護あんしん相談員は橋渡しをします！

施設に入居していると、ちょっとした不満や不安があっても、直接スタッフに言うことを遠慮してしまうことがあります。
介護あんしん相談員は、ご本人やそのご家族が施設職員に直接は言いにくいことをお聞きして、客観的な目で見て気づいた点を施設側に伝えて問題の解決をはかります。
現在１８名の相談員が活動しています。



利用者様や介護あんしん相談員の声からいくつかご紹介します
（令和８年８月・９月）



～介護あんしん相談員の声より～



相談員：毎週土曜日は“〇〇合唱団”と書いていましたが訪問がありますか？
施　設：合唱団が訪問している訳ではなく、利用者様と職員が一緒に合唱する時間としています。

【鳥栖地区広域市町村圏組合】



歌詞カードを全員に配り、一緒に合唱をされているそうです。
選曲は、季節に合わせた曲や、その時のリクエストによって決めているそうです。
職員さんも一緒に、みんなで歌えたら楽しいでしょうね。



ほほえみポイント!



施設の中で仲良しの二人は、車椅子に乗って移動されます。
廊下ですれ違う時には、手でタッチされます♡



～利用者様の声より～



利用者：嫁から毛糸を買ってもらい、マフラーを編んでいます。
施　設：お気に入りの場所で、静かに過ごされています。



【鳥栖地区広域市町村圏組合】

「何もすることがない時は、部屋から出て、ソファーに坐り編み物をしているのよ。ここは特等席よ。夕日も朝日もきれいよ。」
素敵な光景が目に浮かぶようです。施設でも、居心地の良い場所を見つけられたのですね。

利用者：１００歳の敬老の日には、町長さんが挨拶に来られてありがたいです。
施　設：入所時は１００歳の敬老会を、目標にされていました。

「ここは皆さん良くしてくれるので助かるし、娘は毎日来てくれます。戦中は苦労したけど、今はこうして安心して生活できるので感謝しています。」とお話しされました。
次の目標は、ご自身のお誕生日だそうです。やはりご自身が周囲に対しても、常に感謝を伝えられて、周囲からも温かく接してもらっているのでしょうね。
また、施設の管理者さんからも、介護あんしん相談員と色々話せる事は、自分たちの気分転換にもなっており、ミーティングは貴重な時間ですと、嬉しいお言葉をいただきました。

利用者のご家族：ニュースを見せて欲しい。
施　設：部屋におられる際は、ニュース番組を流すようにします。



【鳥栖地区広域市町村圏組合】

施設の中にいても新聞やニュースに触れ、世の中の動きも知っておきたいですね。
やはり、今まで社会の中でバリバリと仕事をし、政治や経済の動きに影響されて来られたのではないでしょうか。新聞等の小さな文字は読みにくくても、テレビならスーッと理解できそうです。
ニュースを見ることは、何十年も続けてきた日常の継続です。７時のニュースなど、時間の確認もできそうですね。



鳥栖広域　相談員だより　検索

鳥栖地区広域市町村圏組合のホームページで、今までの「介護あんしん相談員だより」を閲覧することができます。よろしければご利用ください。